

レッスン再開、 広島祭典に向けて

芸術局長 加山 明美



<発行>
 南部合唱団
 連絡先：〒214-0022
 川崎市多摩区堰
 1-22-1-416
 TEL:044-833-6220

いよいよこの機関紙が発行される頃には夜間の施設使用も可能となるでしょう。飛沫感染には十分注意をして、間隔をとってレッスンしていきたいでしょう。

毎週金曜日のレッスンと、日曜レッスンの併用、感染対策にも配慮して野外レッスンも計画していきたいと思っております。会場や指導者、ピアニストとのスケジュール調整もありますので、日程などは別途連絡をしていきます。

そして、レッスンには目標が肝心です。9月には南部の合唱発表会が控えています。早く曲を決めてレッスンに励まなくてはなりません。東京の合唱発表会、広島祭典に向けてレッスンを積み上げて

いきたいと思います。全国では、「発表会はマスクはするのかもしれないのか？」という問題も出ています。日々のレッスンでは（先ほども書きました）飛沫感染に十分注意して、手指のアルコール消毒、歌う際は十分間隔をとって、休憩時間もきっちりとしてレッスンに臨みたいと思います。

体も歌える体に徐々に戻していかなければなりません。機関紙なんぶに連載いただいた鶴岡さんの「おうちでひとりで発声



練習」も活用しながら声を出していきましよう。合唱は体の中の筋肉を使うスポーツですから、しっかり整えて歌える体を作っていきましょう！

6月13日日曜日、緊急事態宣言が解除され

ない中、数ヶ月振りに多摩川台公園に集まって歌ってみました。

歌集は2018年のメーデー歌集「いのちをまもろう」を使っのレッスン。一時間くらいのつもりが、いつの間にか約二時間も歌いっぱなし！

団員11名、OBの中沢さんとそのお知り合いも横須賀から参加してくれました。うたう会の中では、中沢さんとお知り合



いの方の創作曲も披露（2面に中沢さんの新曲楽譜を掲載）していただきました。みんな変わらぬ笑顔、歌う喜びを感じました。